

北九州

市議会だより

昭和58年1月1日 No. 80



周防灘の夜明け

新春を迎えて

市民のみなさま、あけましておめでとうございませう。

今年、北九州市が誕生して満二十年を迎える記念すべき年です。

これまで多くの問題を解決しながら明るく活力あるまちづくりをめざして着実に前進し、大都市としての骨格も次第に整ってまいりました。ふり返りますと昨年は、通商問題や教科書問題、さらに財政再建や行政改革など、国内外は政治、経済ともに大きく揺れ動きました。

本年も引き続き財政建直しと景気浮揚によつて国民生活の安定を図ることが国政における最大の課題と思われませう。

市政をとりまく情勢もまた、非常に厳しいものがありますが、私たち議員一同は市民福祉の充実や文化の向上を図り、北九州市を名実ともに百万都市として飛躍、発展させるため、今後一層の努力をする決意でございます。みなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

元旦

北九州市議会

議長 重田 幸吉

副議長 平山 政智

補正予算など28件を可決

決まった主なもの

市長提出

◎五十七年度各会計補正予算



12月定例会

昭和五十七年十二月北九州市議会定例会を、十二月六日から五日間の会期で開き、十二月十日に終わりました。

今議会に市長から提出された議案は、五十七年度各会計補正予算議案九件、条例議案六件、そのほか契約締結に関する議案等十三件の合計二十八件でした。

十二月六日の本会議において、二人の議員がこれらの議案について質疑を行ったのち、それぞれ所管の常任委員会に付託し、慎重に審査しました。

その結果、これらの議案すべてを、十二月十日の本会議で可決しました。

一方、議員から提出された議案は四件で、そのうち二件を可決し、一件を否決しました。

補正予算の概要

区分	補正前の額	補正額(増額)	補正後の額
一般会計	3,493億3,096万円	13億3,780万円	3,506億6,876万円
普通特別会計	2,667億2,755万円	27億 213万円	2,694億2,968万円
企業会計	501億9,230万円	1,397万円	502億 627万円
合計	6,662億5,081万円	40億5,390万円	6,703億 471万円

補正の主なもの

- ◎公共事業 (河川・街路整備) 2億7,020万円
- ◎単独事業 (道路・公園整備) 3億4,300万円
- ◎商工貿易会館建設事業 3億5,020万円

- ◎北九州市特別会計条例の一部改正
老人保健法の制定に伴い、老人保健医療特別会計を新たに設け、併せて福祉医療特別会計を廃止するもの
- ◎北九州市青少年問題協議会設置条例の一部改正
青少年問題協議会委員の定数を三十四人以上から四十人以上に増やすもの
- ◎太刀浦重量物ふ頭荷役機械三号(本体)製作工事請負契約締結契約金額 五億九、六〇〇万円
- ◎小倉駅東側公共連絡通路新設工事委託協定締結
委託金額 四億五、〇〇〇万円
- ◎土地の取得
小倉南区大字曾根に所在する土地を曾根新工場団地用地として買入れるもの
面積 三万二二二平方メートル
- ◎予定金額 七億二八七一万円
公有水面埋立てに関する意見
市が出願した若松区二島地区と八幡西区との連絡道路建設に係る公有水面の埋立てについて意見を求められたので、異議のない旨回答するもの
- ◎面積 三二一平方メートル
場所 若松区大字二島一六二三番二地先公有水面
- ◎北九州大学大学院外国語学研究所の設置
北九州大学大学院に、外国語学研究科を五十八年四月一日から開設するため、その設置認可を文部省に申請するもの
- ◎北九州市災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する

議員提出

- ◎条例の一部改正
災害障害見舞金の支給制度を新たに設けるもの
支給額
世帯の生計維持者の場合 一五〇万円
その他の場合 七五万円
- ◎雇用対策の強化に関する意見書
- ◎電電公社改革に関する意見書
- ◎人事院勧告に関する意見書

人事紹介

十二月定例会で、次のかたがたが決まりました。(敬称略)

- 島津 種雄
- 堤 誠 高木 正毅
- 生野 ヒサ 脇山ヨシノ
- 加藤 正夫 白石 止
- 阿部 明男 浦井 龍章
- 牧野美彌子
- 人権擁護委員候補者

北九州市民憲章

緑を豊かに
清潔で美しいまちにします
きまりを守り
安全なまちにします
人を大切に
ふれあいの輪をひろげます
元気で働き
明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め
文化のかおるまちにします

質疑 応答



本会議で九人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政全般について質問を行いました。
そのなかから主なものをとり上げました。

税収不足の 補てん措置は

議員 当初予算審議において、堅実な予算を組んでいると説明がなされていたが、今回の補正予算では市民税収入が四十一億円減額されています。

当初の見通しに甘さがあつたのではありませんか。

市長 税収の見積りは、過去の実績や地方財政計画をもとに行つたが、景気の停滞が予想を上回り、地方とも税収不足が見込まれています。

しかし、当初予算では歳入を手堅く見積つていたこと、地方交付税が、当初見込みを上回つて決定されることになっていることなどで、歳入全体として当初見積つていた財源は確保できると考えています。

議員 三十億円の減収補てん債が計上されているが、これは来年度以降の市民の負担になるのではありませんか。

市長 減収補てん債は、地方の税収不足を補うために、国において措置されたものです。このため、減収補てん債の元利

償還に要する経費は、地方交付税の財源で補償されることになっていきます。

指導推進要項を策定

― 非行防止対策 ―

議員 教育委員会内に設けられている校内暴力等非行防止対策委員会において、生徒指導推進要項を策定し、六千人を超える市の全教職員に対して配布しているが、その要項の内容等についてお聞かせください。

教育長 この要項は、各学校において生徒指導に取り組むための具体的な行動目標を示したものであり、学校長を通じて配布し、指導をしました。

内容は、生徒指導体制の確立、生徒理解の深化と教育相談の促進など基本的な方策七項目や問題状況への具体的な対応等の重要なこととがらを中心に構成しています。

なお、この要項に基づき各学校で積極的に生徒指導の実践活動を推進するため、校長、教頭会で協議を行つたり、生徒指導担当教員の会議などを通じて、趣旨の徹底を図り、具体的な方策等について指導を行います。

さらに、PTA等の関係機関についても趣旨を説明し、理解と協力を求めるなど、この実現に努めていく考えです。

保健事業の 充実を

議員 先般成立した老人保健法には、医療のほか、健康手帳の交付など七項目の事業が示されており、保健対策を総合的に推進することになっていきます。

今後の市の対応はどのようになるのでしょうか。

衛生局長 保健事業は、健康手帳の交付、健康教育、健康相談ほか一般診療と胃がん検診、子宮がん検診を含む健康診査や機能訓練、訪問指導等があります。

市では、健康手帳の交付を除き、早いものは四十三年、遅いものでも五十一年からすべて実施していきます。

今後は、これらの受診率の向上に努めるとともに基盤の整備、内容の充実を図っていききたいと思えます。

新設される 婦人対策室

― 婦人対策室 ―

議員 五十七年十一月に提出された北九州市婦人問題懇談会の報告書によると、婦人問題の総合的施策推進のため、婦人対策室(仮称)の設置が提案されています。これについてどのような検討がなされていますか。

市長 婦人対策室は、一月一日付で発足させたいと考えています。この室(課)長には女性を起用し、

婦人問題について十分能力を発揮できるように環境づくりをしていきたいと考えています。

議員 婦人の行政への積極的参加を促進するため、各種審議会等への婦人の参加率十五パーセントを目標に、努力してこられたと思えますが、その達成状況はどうなっていますか。

皿倉山に森林植物園

― グリーンプラン ―

議員 グリーン北九州プランに基づき市民、企業、市が一体となつて緑のまちづくりに取り組んできた成果として、緑の都市賞の内閣総理大臣賞を受けました。

今後も緑のまちづくりは、さらに続ける必要があります。グリーンプランも、今年度から第三次五か年計画に取り組んでいる

市長 五十六年四月には、十五パーセントの目標を達成しています。

五十七年十月一日現在では目標を上回り、十五・二パーセントの参加率になっています。今後は、二十パーセントを目標として、早い時期にこれを実現したいと思っています。

が、昨今の厳しい財政状況のおり、今後の計画に対する見直しをお聞かせください。

市長 第三次グリーンプランでは、都市公園面積は市民一人当たり九平方メートル、植樹は百八十万本を達成することを目標としています。

財政状況は厳しくなっているが、このグリーンプランについては財源を確保して、計画を推進していく考えです。

議員 グリーンプランには、帆柱に森林植物園の計画があるが、この計画の進め方と内容はどうか考えていますか。

市長 帆柱一帯を魅力的で健全なレクリエーションや自然教育の場とするために、土地を所有している営林局の第四次地域施設計画に組み入れていただくもので、年度内に調整を終え、五十八年度から六十七年度までの十年間で整備を完了したいと考えています。

皿倉山の東斜面約五十ヘクタールの国有地を無償で借地して、国内産や外国産の樹木を群落植栽するとともに、見本園、展示棟、レクリエーション広場、休憩施設などを設置する予定です。



浅生1号公園

白島石油備蓄基地 建設をめくって

議員 白島石油備蓄基地建設に
関連して、大企業の政界等をまき
こんだ疑惑が報道され、市民の関
心を集めています。
疑惑が解明されるまで、基地建
設は延期すべきではないでしょ
うか。

市長 報道されている疑惑は、
民間備蓄構想時代の企業グルー
プの活動に関してのことで、市はま
ったくこれを関知していません。
このような報道がなされたのは
残念です。工事に着手する前に疑
惑が解明されるよう、警察の捜査
に全面的に協力しています。

今後とも、厳正公平に、またい
かなる暴力的行為に対しても、正
しく筋を通していききたいと考
えています。

議員 大手企業グループによる
市議会や市長に対する工作費のこ
とが報道されたが、このことは市
議会等の名譽にかかわる極めて重
要な問題です。

これについて調査をされました
か。

助役 市は、国家備蓄への協力
とあわせ、地元経済浮揚の観点か
ら、基地建設を促進しているが、
この事業に対し、市民に誤解をま
ねくようなことがあつてはならな
いと考へ、関係企業に問いあわせ
ました。

その結果、議会工作等を行った
事実はまったくなく、という返事
をいただいております。

議員 運輸省の埋立認可がまだ

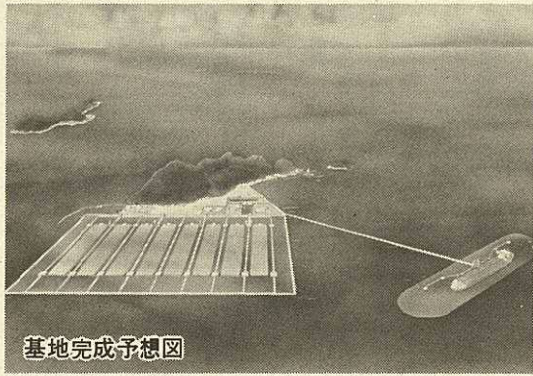
おりないのは、安全性に問題があ
るからではないですか。

また、近くには自衛隊の訓練海
域があるが、これが支障になりま
せんか。

市長 早く埋立認可をいただ
けるよう、運輸省と交渉していま
す。

運輸省は、事業主体である石油
公団の最終意思を確認したのち、
認可等の事務を進めるとのこと
で、安全性については十分検討さ
れており、問題はないとのこと
です。

自衛隊の訓練海域について、石
油公団は計画時点から防衛庁と協
議をかさね、基地運営に支障が
ないよう協力するという回答を
受けています。



基地完成予想図

主体性の確立を

— 同和行政 —

議員 十月十三日に提出された
市の同和对策審議会の中間答申で
も指摘されているように、同和行
政推進にあたっては、行政の主体

性を確立することが重要であると
思いますが、いかがですか。

市長 非常に立派な中間答申を
市の同和对策審議会からいただき
ましたので、この答申に従って新
しい同和行政の路線を敷いてい
きたいと考えています。

主体性の確立については、全職
員が一体となって同和問題の理解
と認識を深めていくことが、な
よりも大切です。

また、同和地区の実態を把握し、
総合計画を策定して、計画的、効
果的に事業を実施する考えです。

運動団体との協議については、
一定のルールを確立し、そのル
ールに基づいて行い、最終的には市
が責任をもって判断し、執行して
いくことが行政の主体性を確立す
ることであると考へます。

実りある

デイ・ケア活動を

議員 五十六年十一月にデイ・
ケアセンターが開設され、その第
一回の通所者は、六か月の訓練期
間を終えました。当初の通所者四十
八人中終了した者は二十五人で、
そのうち現在就業している者は十
三人という状況です。

社会復帰、就職への道を開くた
めには、市独自の職親制度の創設
や職業訓練あるいは授産所設置等
を早急に検討すべきではありません
んか。

また、デイ・ケア活動は家族の
理解が重要であるため、北九州市
精神障害者家族会への助成につ
いても配慮をお願いします。

衛生局長 市独自の制度や職業



デイ・ケアセンター

着した姿で運営していくことに重
点をおいていきます。

在宅の障害者や年長者のかたが
たには、地域が一体となって福祉
の手をさしのべることに力をそ
ぐ必要があります。

このためには、地域の社会福祉
協議会と公民館とを結んだコミュ
ニティ・ケアの在り方を追求して
いくことが、今後の重要な課題で
あると考えています。

市職員の

給与改定は

議員 人事委員会は、市職員と
民間従業員との給与格差が四・五
六パーセントとなっているとして、
給与改定の必要性を報告してい
ます。

この報告を尊重して、給与改定
を行う考えはありませんか。

市長 人事委員会制度の趣旨は
十分認識しているとおりであり、
また労使関係の安定という面から
も、できれば給与改定を行いたい
と考えています。

しかし、国においては、財政の
非常事態に対処するため人事院勧
告実施の見送りを決定し、地方自
治体にも国に準じた措置を行うよ
うにこの指導をしています。

給与改定は、将来にわたって財
政的影響を及ぼす問題であり、
また国の厳しい財政的制裁措置も
予想され、人事委員会と国との板
ばさみになって大変苦慮している
ところです。

今後、国会の論議等を十分見守
りながら、慎重に取り扱いたい
と考えています。

地域に 福祉の輪を

議員 財政事情の窮迫が予想さ
れるなかで、これまで実施してきた
きめ細かな福祉施策はどのよう
になりますか。

市長 今後の方針としては、施
設をつくっていくことよりも、現
在ある施設を活用して、地域に密